

【地質調査位置】

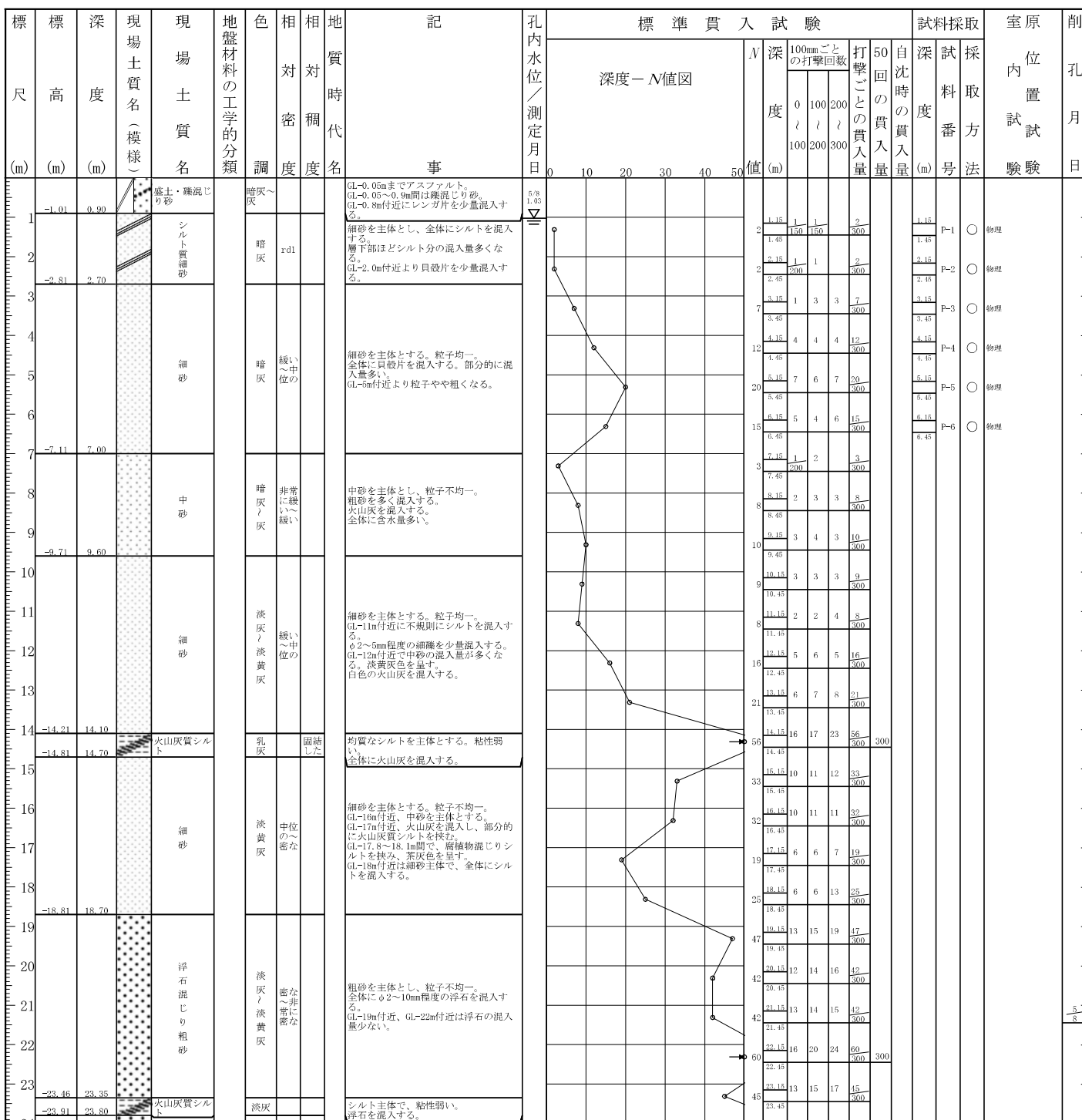
# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

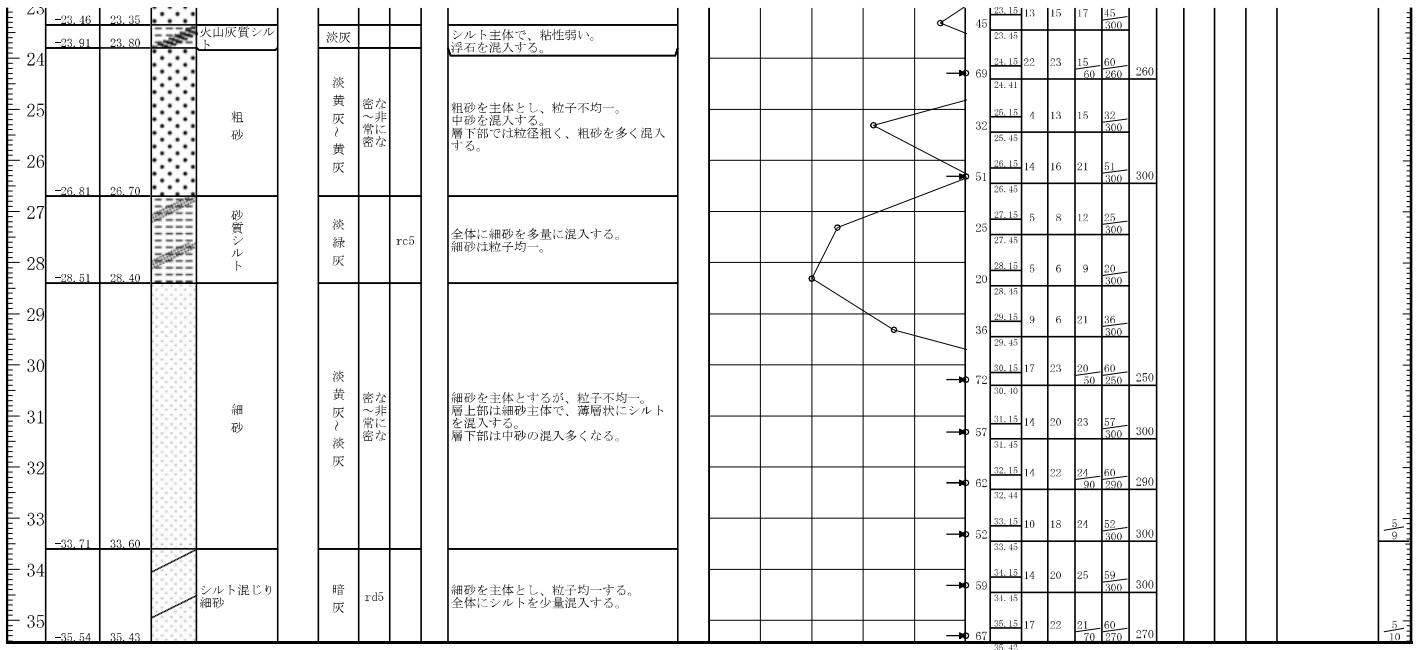
調査名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

事業名 または 工事名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. 1	調査位置	名古屋市港区泰明町1-1(名古屋競馬場)			北緯	35° 06' 46.0"		
発注機関	アジア競技大会愛知・名古屋合同準備会			調査期間	2018年 4月 6日 ~ 2018年 8月 31日		東経	136° 51' 51.7"	
調査業者名	株式会社ダイヤコンサルタント 電話 052-681-6711		主任技師	杉野 康博 地質調査士 登録番号 第16611号	現場代理人	甲斐 雅博 地質調査士 登録番号 第15107号	コア鑑定者	甲斐 雅博 地質調査士 登録番号 第15107号	
ボーリング責任者	伊藤 大貴 地質調査士 登録番号			試験機	KR-100H		ポンプ	KANO V6	
孔口標高	T.P. -0.11m	角	180° 上下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	エンジン NF90
総削孔長	35.43m								





# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

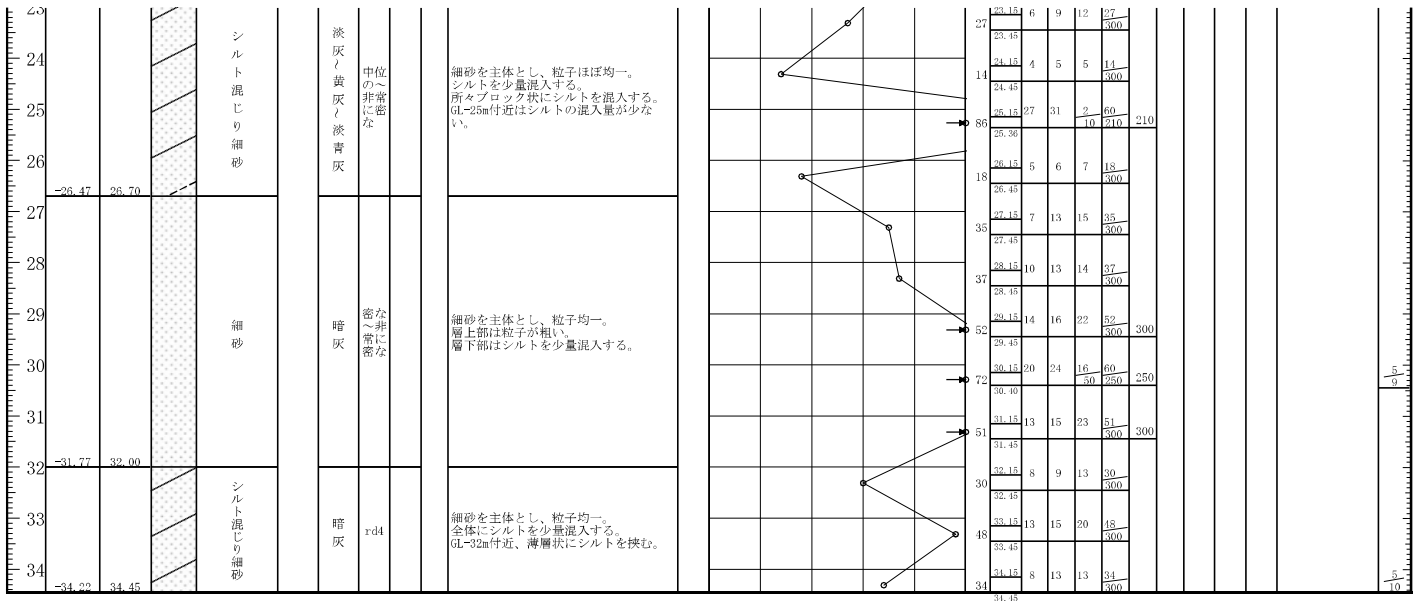
調査名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

事業名 または 工事名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. 2	調査位置	名古屋市港区泰明町1-1(名古屋競馬場)	北緯	35° 06' 47.4"
発注機関	アジア競技大会愛知・名古屋合同準備会			調査期間	2018年 4月 6日 ~ 2018年 8月 31日
調査業者名	株式会社ダイヤコンサルタント 電話 052-681-6711	主任技師	杉野 康博 地質調査技師 登録番号 第16611号	現場代理人	甲斐 雅博 地質調査技師 登録番号:
コア鑑定者	甲斐 雅博 地質調査技師 登録番号:		ボーリング責任者	山本 誠 地質調査技師 登録番号:	
孔口標高	T.P. 0.23m	角	180° 上下 90°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	34.45m	地盤勾配	鉛直 90°	使用機種	試錐機 YBM05 DA-2 エンジン NFAD-9
				ポンプ	GP-5

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	試験採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日			
												深度-N値図												
												N値	深さ	100mmごとの打撃回数	200mmごとの打撃回数	300mmごとの打撃回数	50回の貫入量	深さ	試験採取番号	採取方法	室内位置試験	削孔月日		
1	-0.67	0.90	盛土・礫混じり砂	細砂	茶灰					GL-0.1mまでアスファルト。GL-0.1~0.9m間は、改良土で粒子不均一。所々φ5~30mm程度の礫点存在。細砂を主体とし、粒子不均一。層下部で、シルト分を混入する。	5.8 1.70	1.15	1	1	1	3	300							
2	-1.57	1.80	シルト	シルト	暗灰		rd1			シルト主体で、粘性や強い。全体に腐植物を混入する。	▽	2.15				0	450	450	P-3	物理				
3	-2.27	2.50			暗灰		rc1					2.60												
4				細砂	暗灰					細砂を主体とし、粒子不均一。GL-4m付近に少量のシルトを混入する。全体に貝殻片を混入する。部分的に混入量多い。		3.15	4	5	4	13	500	3.15	P-3	物理				
5					暗灰							3.45						3.45						
6					暗灰							4.15	2	1	2	5	500	4.15	P-4	物理				
7	-6.77	7.00			暗灰							4.45						4.45						
8					暗灰							5.15	2	2	3	7	500	5.15	P-5	物理				
9					暗灰							5.45						5.45						
10					暗灰							6.15	3	2	1	6	500	6.15	P-6	物理				
11					淡灰					全体に細砂を主体とするが、粒子不均一。部分的に中砂の混入量多くなる。GL-7~9m付近にφ2~5mm程度の円礫を少量混入する。GL-14m付近は細砂主体で、シルトを混入する。火山灰を混入し、部分的に混入量多い。含水量多い。		6.45						6.45						
12					淡灰							7.15	1	1	2	4	500	7.15						
13					淡灰							7.45						7.45						
14					淡灰							8.15	2	1	3	6	500	8.15						
15					淡灰							8.45						8.45						
16					淡灰							9.15	2	2	3	7	500	9.15						
17					淡灰							9.45						9.45						
18					淡灰							10.15	4	3	4	11	500	10.15						
19					淡灰							10.45						10.45						
20					淡灰							11.15	3	3	4	10	500	11.15						
21	-14.77	15.00			淡灰							11.45						11.45						
22					淡灰							12.15	5	6	7	18	500	12.15						
23					淡灰							12.45						12.45						
24					淡灰							13.15	4	5	6	15	500	13.15						
25					淡灰							13.45						13.45						
26					淡灰							14.15	3	3	4	10	500	14.15						
27					淡灰							14.45						14.45						
28					淡灰							15.15	4	6	9	19	500	15.15						
29					淡灰							15.45						15.45						
30					淡灰							16.15	8	7	9	24	500	16.15						
31					淡灰							16.45						16.45						
32					淡灰							17.15	11	13	14	38	500	17.15						
33					淡灰							17.45						17.45						
34					淡灰							18.15	7	8	9	24	500	18.15						
35					淡灰							18.45						18.45						
36					淡灰							19.15	8	10	10	28	500	19.15						
37					淡灰							19.45						19.45						
38					淡灰							20.15	7	5	5	17	500	20.15						
39					淡灰							20.45						20.45						
40					淡灰							21.15	5	4	6	15	500	21.15						
41					淡灰							21.45						21.45						
42					淡灰							22.15	9	13	15	37	500	22.15						
43					淡灰							22.45						22.45						
44					淡灰							23.15	6	9	12	27	500	23.15						
45					淡灰							23.45						23.45						



# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

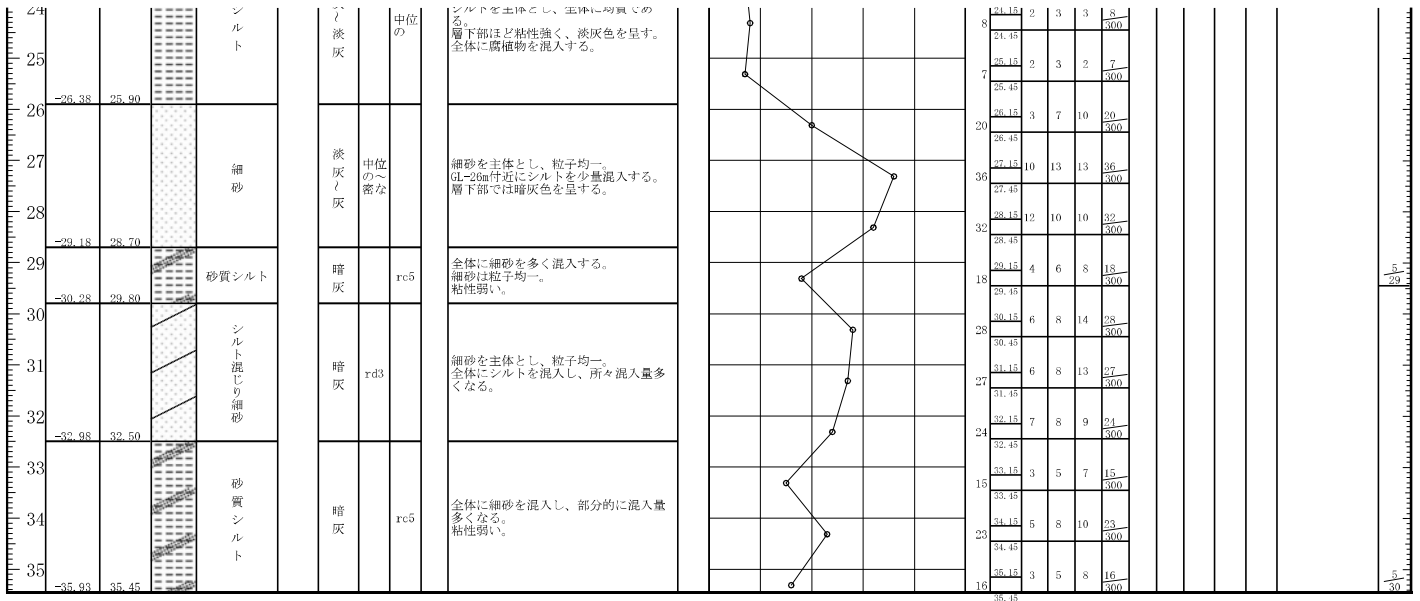
調査名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

事業名 または 工事名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. 3	調査位置	名古屋市港区泰明町1-1(名古屋競馬場)	北緯	35° 06' 32.8"
発注機関	アジア競技大会愛知・名古屋合同準備会			調査期間	2018年 4月 6日 ~ 2018年 8月 31日
調査業者名	株式会社ダイヤコンサルタント 電話 052-681-6711	主任技師	杉野 康博 地質調査士 登録番号: 第16611号	現場代理人	甲斐 雅博 地質調査士 登録番号: 第15107号
コア鑑定者	甲斐 雅博 地質調査士 登録番号: 第15107号		ボーリング責任者	磯部 伸介 地質調査士 登録番号:	
孔口標高	T.P. -0.48m	角	180° 上下 90°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	35.45m	地盤勾配	鉛直 90°	使用機種	試錐機 DM03 エンジン NFD-8
				ポンプ	BG-2

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	地質時代名	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取	室内位置試験	削孔月日				
												深度-N値図	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量	試験番号	採取方法	
	-0.83	0.35	盛土・砂礫	盛土・砂礫	暗褐色					GL-0.05mまでアスファルト。 GL-0.05~0.35m間は改良土で粒子不均一。 細砂を主体とし、粒子不均一。	5/28 0.80													
1	-1.48	1.00	シルト	シルト	暗灰と褐色			rc1		シルトは全体に均質で、粘性やや強い、全体に腐植物を混入する。			1.15	1	300	1								
2													1.45			0	600							
3	-3.28	2.80											2.60	2	3	2	7							
4													3.15	2	3	2	7							
5			細砂	細砂	暗灰			緩い ~中位の		細砂を主体とし、粒子不均一。 GL-3m付近に少量のシルトを混入する。 全体に貝殻片を混入し、部分的に混入量多くなる。			4.15	3	3	3	9							
6													4.45	3	5	5	13	5.15	P-5	○	物理			
7	-7.48	7.00											5.15	3	5	5	13	6.15	P-6	○	物理			
8													6.45	3	3	3	9							
9			細砂	細砂	灰と黄灰			緩い ~中位の		細砂を主体とし、粒子不均一。 GL-7~9m付近に白色の火山灰を混入する。 GL-10m付近より黄灰色を呈する。粒子ほぼ均一。 GL-11~12m付近、φ2~5mm程度の浮石を混入する。 全体に含水量多い。			7.15	1	1	2	4							
10													7.45											
11													8.15	2	2	2	6							
12	-12.63	12.15											8.45											
13			シルト	シルト	黄灰と灰			中位 ~非常に硬い		均質なシルト主体である。 層上部に腐植物を混入する。 GL-13m付近、細砂を混入し、砂質シルト状を呈する。 GL-14m付近より少量の火山灰を混入する。			9.45	3	3	6	12							
14													10.15	6	8	10	24							
15	-15.83	15.35											10.45											
16	-16.28	15.80	火山灰質シルト	火山灰質シルト	乳灰					シルト主体とし、粘性弱い。 全体に火山灰を混入する。			11.15	4	6	10	20							
17													11.45											
18			細砂	細砂	灰と暗灰			rd4		細砂を主体とし、粒子不均一。 層下部では粒径が粗くなる。 部分的に少量のシルトを混入する。			12.15	6	6	9	21							
19	-19.88	19.40											12.45											
20			浮石混じり粗砂	浮石混じり粗砂	黄灰			rd3		粗砂を主体とし、粒子不均一。 全体にφ1~3mm程度の浮石を混入し、部分的に混入量多くなる。 層下部では浮石の混入量多くなる。			13.15	5	4	4	13							
21													13.45											
22	-22.73	22.25	火山灰質シルト	火山灰質シルト	黄灰と暗灰					シルト主体で、粘性弱い。 浮石を混入する。			14.15	2	3	2	7							
23	-23.28	22.80											14.45											
24			シルト	シルト	灰と淡灰			中位の		シルトを主体とし、全体に均質である。 層下部ほど粘性強く、淡灰色を呈す。 全体に腐植物を混入する。			15.15	2	5	14	21							
25													15.45											
													16.15	8	11	12	31							
													16.45											
													17.15	11	12	14	37							
													17.45											
													18.15	8	11	11	29							
													18.45											
													19.15	10	10	12	32							
													19.45											
													20.15	11	8	7	26							
													20.45											
													21.15	6	7	9	22							
													21.45											
													22.15	10	19	21	50							
													22.45											
													23.15	2	2	3	7							
													23.45											
													24.15	2	3	3	8							
													24.45											



# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

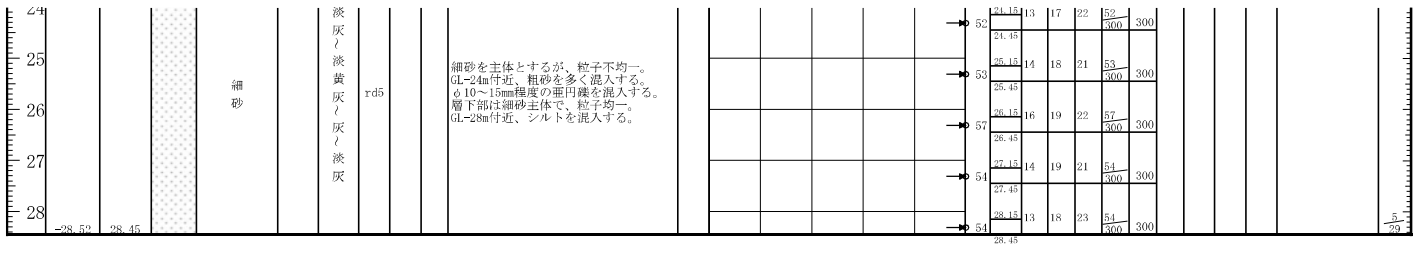
事業名 または 工事名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. 4	調査位置	名古屋市港区泰明町1-1(名古屋競馬場)			北緯	35° 06' 36.90"				
発注機関	アジア競技大会愛知・名古屋合同準備会				調査期間	2018年 4月 6日 ~ 2018年 8月 31日		東経	136° 52' 10.50"		
調査業者名	株式会社ダイヤコンサルタント 電話 052-681-6711		主任技師	杉野 康博 地質調査士 登録番号 第16611号		現場代理人	甲斐 雅博 地質調査士 登録番号 第15107号		コア鑑定者	甲斐 雅博 地質調査士 登録番号 第15107号	
ボーリング責任者	森田 達也 地質調査士 登録番号 第21914号		試験機	KR-100H		エンジン	NFD9		ポンプ	V-5	
孔口標高	T.P. -0.07m		角	180° 上下 90°		方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 90°	
総削孔長	28.45m		使用機種								

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	地質時代名	記	孔内水位/測定月日	標準貫入試験							試験採取	室原位置試験	削孔月日				
												深度-N値図										深	試	採	
												N	深	100mmごとの打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	試	採						
												値	(m)	0 100 200 300	100 200 300	(m)	度	料	取	方	法				
	-0.67	0.60	盛土・砂礫	盛土・砂礫	暗茶灰					GL-0.05mまでアスファルト。 GL-0.05~0.6m間は砂礫。	5/38 1.38		1.15	2	1	1	4								
1	-1.42	1.35	細砂	細砂	暗茶灰					細砂を主体とし、粒子均一。 所々貝殻片を混入する。		1.45													
2			シルト	シルト	暗茶灰			rc1		シルト主体で、全体に均質である。粘性やや強い、非常に柔らかい。		2.45													
3												3.50													
4	-3.87	3.80										4.15	3	3	3	9									
5												4.45													
6			細砂	細砂	暗茶灰			非常に緩い 中位の		細砂を主体とし、粒子均一。全体に貝殻片を混入し、部分的に混入量多くなる。 GL-6m付近より、シルトを少量混入する。 層下部ではシルトの混入量多くなる。		5.15	3	4	6	13									
7												6.15	1	1	2	3									
8	-8.07	8.00										7.15	1	1	2	3									
9												8.15	3	3	4	10									
10			細砂	細砂	灰と黄灰			緩い 中位の		細砂を主体とし、粒子不均一。シルトを少量混入し、部分的に混入量多くなる。 所々φ2~5mm程度の角礫を少量混入する。 火山灰を混入する。		9.15	4	4	4	12									
11												10.15	2	3	3	8									
12			シルト	シルト	淡灰			rc4		シルト主体で、粘性強い、全体に腐植物を少量混入する。		11.15	2	3	3	8									
13	-12.57	12.50										12.15	2	3	3	8									
14	-13.97	13.90										13.15	3	3	3	9									
15			細砂	細砂	淡灰と黄灰			rd3		細砂を主体とし、粒子均一。GL-14m付近で部分的に腐植物を含み、黄褐色を呈す。 所々火山灰を混入する。		14.15	5	6	8	19									
16	-16.07	16.00										15.15	7	8	8	23									
17												16.15	8	8	9	25									
18			粗砂	粗砂	黄灰			rd3		粗砂を主体とし、粒子不均一。所々φ2~10mm程度の重円礫を混入する。 碎石を混入する。		17.15	7	8	9	24									
19												18.15	7	9	10	26									
20	-20.07	20.00										19.15	8	9	9	26									
21	-21.57	21.50	細砂	細砂	淡灰			rd4		細砂を主体とし、粒子均一。少量の碎石を混入する。		20.15	9	10	12	31									
22	-22.92	22.85	火山灰質シルト	火山灰質シルト	淡灰			rc4		シルト主体で、粘性やや弱い。微量の腐植物を混入する。		21.15	10	10	11	31									
23												22.15	3	3	3	9									
24												23.15	13	18	22	53									
												24.15	13	17	22	52									
												24.45													





# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

事業名 または 工事名 第20回アジア競技大会選手村後利用地質調査及び土壌調査業務委託

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. 5	調査位置	名古屋市港区泰明町1-1 (名古屋競馬場)			北緯	35° 06' 41.50"			
発注機関	アジア競技大会愛知・名古屋合同準備会			調査期間	2018年 4月 6日 ~ 2018年 8月 31日		東経	136° 52' 1.50"		
調査業者名	株式会社ダイヤコンサルタント 電話 052-681-6711		主任技師	杉野 康博 地質調査技士 第16611号	現場代理人	甲斐 雅博 地質調査技士 第15107号	コア鑑定者	甲斐 雅博 地質調査技士 第15107号	ボーリング責任者	磯部 伸介 地質調査技士 第15107号
孔口標高	T.P. -0.55m	角	180° 上下 0°		方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	水平0° 鉛直90°	
総削孔長	50.45m	使用機種	試錐機	DM03	エンジン	NFD-8		ポンプ	BG-2	

